

令和6年5月29日

大阪維新の会 綱紀委員会 御中

大阪維新の会 大阪府議会議員団
土井達也

令和6年5月12日開催の山本優真泉南市長報告会において 私が配布した資料に対する上申書への弁明書②

令和6年5月14日
大阪維新の会 幹事長 横山英幸 殿
大阪維新の会 阪南市長 水野謙二 阪南市議会議員団 幹事長 渡辺秀綱 角野信和 百々麻希
土井達也議員への処分を求める上申書
平素は、阪南市政並びに当議員団活動へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年10月に執行が予定される阪南市長選挙に向け、地元はじめ近隣の党所属議員とも一致結束し、その必勝を期し先月より活動を活性化させたところであります。引き続きのご支援、ご協力をお願い致します。

この箇所について、
特に、弁明はございません。

さて、現在はこの市長選挙への立候補に向け、自民党と公明党が上甲誠（じょうこうまこと）阪南市議会議員への支援（推挙）を調整している最中にあると言われており、全国各地で展開されてきた【維新 VS その他全部】という選挙戦が早い段階から繰り上げられることが必至の状況となっています。また、市内には上甲議員と千代松泉佐野市長の2連ポスターがお目見えし、早くも話題となっています。（P3.画像①参照）そのような中、大阪維新の会特別党員で大阪府議会議員の土井達也議員は5月12日、一般党员や支持者が集い開催された、山本ゆうま泉南市長の市政報告会において『**維新の名のもと、市民に損失を、市民を犠牲にして、水野市政が成立している**』と書き記した資料の配布（P3.画像②参照/資料全体は別途提出）を行っています。



これが、初めてであったとのこと。

れており、全国各地で展開されてきた【維新 VS その他全部】という選挙戦が早い段階から繰り上げられることが必至の状況となっています。また、市内には上



もう一言加えると、私は「阪南市」だけに限れば、「その他全部」を敵に回しても勝てるだけの地盤を30歳の市議選の頃から長い年月をかけて築いてきました。

甲議員と千代松泉佐野市長の 2 連ポスターがお目見えし、早くも話題となって

の方を反省すべきである。

ま泉南市長の市政報告会において『維新の名のもと、市民に損失を、市民を犠牲にして、水野市政が成立している』と書き記した資料の配布 (P3.画像②参照/資料全体は別途提出) を行っています。

これは事実であり反省しています。今後一切配布を行いません。そして、その配布行為の影響力は 5 月 29 日現在、この報告書が外部に出回っている部数は、1 部新たに回収できて、3 部となりました。印刷部数 60 部に対する回収と破棄合計割合は 95%です。回収時点で約 41.7%は処分され、関心があつて読んだ人の割合は 2.8%です。資料は回収を続け、その影響はほぼないことを申し上げます。

行為が党所属の土井議員によって行われたこと、加えて本行為は明らかに水野市長の信用を失墜させ、落選させる意図をもった土井議員による行為であること

この報告書は、今から 1 年以上も前の 2023 年 3 月 31 日告示の統一地方選挙で、私が公約として掲げ有権者の皆様と約束をしたものです。

その意図は、公表している公約に記載している通り、「今回の市営運営についての『検証』と、今後このようなことを起こさないためにはどうしたらよいのか『検討』を行うため、「検証・検討市民会議」を立ち上げ検証・検討を行い、結果を公表して、今後広域で活かせるようにして参ります」ということです。

また、配布場所は「泉南市」であり、阪南市長選挙の「落選させる意図」とはなりません。

以上のように、上申書のような意図はまったくなく、「決めつけ」と「すり替え」、「抜き取り」による印象操作が行われています。

とからも、決して許される行為ではありません。当然ながら、このような状況下ではこれから迎える厳しい選挙戦を戦うことは出来ません。

現職の選挙は、①今までの実績に対する有権者の評価、②これからのマニフェスト・公約に対する有権者の評価、これが基本であり、実績やマニフェストを黨員等で共有できているわけでもなく、ましてや有権者は何も分からないなかで、「公認」だけが先行すれば単なる人気投票であり、厳しい選挙になるのは当然であると考えます。

しかしながら、この弁明書 1 頁目でも記載の通り、私は「阪南市」だけに限れば、「その他全部」を敵に回しても勝てるだけの地盤を 30 歳の市議選の頃から長い年月をかけて築いてきており、それこそ、阪南市内では「維新」と叫べば、誰でも当選できる選挙区を作り上げてきました。従って、①今までの評価、②今後の評価、をもとに適正な公認手続きを経れば、このような感情的な選挙にはならないと考えます。

これ以外にも、『維新を名乗れば、誰もが当選するようになった。どんな市政運営を行なおうと、お構いなしで当選する。』とも書き記されています。これは、現在 22 名いる大阪維新の会所属の首長が行ってきた維新改革、維新政治への冒涇であり、決して看過できません。また、議会での過半数や第 1 党を目指し各議会議員選挙で満身創痍の思いで戦ってきた多くの同志に、説明ができません。特に、涙をのんだ同志を思うと決して許すべきではありません。

上申書のこの箇所は、まさに、「決めつけ」と「すり替え」、「抜き取り」による印象操作です。

問題となっている、市民会議の「報告書」1 頁目に「この報告書は、2023 年の統一地方選挙において、土井達也がみなさまとお約束したマニフェストに基づいて、2023 年 4 月から「市民会議」を立上げ、1 年をかけて検証・検討し、選挙区内でこういう事が二度と起こらないように情報共有するための報告書です」と私は記しているのです。あくまでも、私の「選挙区内で」なのです。大阪府内 22 名の首長のことを言っているわけでも、他の地域の同志の議員選挙のことを言っているわけでもないのです。私の選挙区内のことを言っているのです。

そして、私の選挙区内に限れば、特に、阪南市選挙区に限れば、「その他全部」を敵に回しても勝てるだけの地盤を 30 歳の市議選の頃から長い年月をかけて築いてきており、それこそ、阪南市内では「維新」と叫べば、誰でも当選できる選挙区を作り上げてきた自負があります。

上申書のみなさんのこのような議論のすり替えを鵜呑みにすることなく、逆に、今まで私が長年の多大なる尽力のもとに築き上げてきた自分の選挙区への冒涇であることに気付いて頂きたいのです。

さらに、阪南市長選挙に向け既にスタートしている党所属の近隣議員による応援活動を指し、土井議員は『市民ではない、外からの運動員が「維新、維新」と叫び（中略）阪南市民への損失を継続させていく（中略）「維新」は、もはや、単なる「選挙互助会」なのである。』とも書き記しています。来月には、阪南市で開催する維新タウンミーティングへの横山幹事長による応援弁士としてのご出席も叶いました。既にこれを土井議員にも伝えてあります。その上で、これら党として一致結束した活動を「選挙互助会」と揶揄する本行為は、党組織そのものを冒瀆し、加えて党の公認権に対する信頼性を脅かし、党の名譽を大きく傷つける行為であることから、決して許されません。

6月2日の横山幹事長を応援弁士として行う維新タウンミーティングは、日程調整もなく、直前に一方的に通告してきたものであり、4つも自治体を選挙区とする私にとって、数か月も前

から出席要請がある行事が続くわけで、事前の日程調整を行って頂かなければ、維新の名譽にも傷がつくのです。

再度、この報告書の1頁目を掲載しますが、「この報告書は、2023年の統一地方選挙において、土井達也がみなさまとお約束したマニフェストに基づいて、2023年4月から「市民会議」を立上げ、1年をかけて検証・検討し、選挙区内でこういう事が二度と起こらないように情報共有するための報告書です。

この取り組みは、「民間事業として大阪府内過去最大規模となる巨大な盛土事業」に絡み、阪南市政に、私は、大きな違和感を覚えたからです。

真実を明らかにし、みなさまと情報共有をはかり、そして、私たちの未来を良い方向へと変える一助になることを期待します」ということが目的であり、問題提起であり、これに対応する答えをみんなで希求しなければならないと考えているのです。この答えは単純であり、先ほどから何度も申し上げている通り、選挙のあり方、①今までの実績評価、②これからのマニフェスト評価の二点をしっかり行ったうえでの公認（この過程を地元党员とともに行っていく）ことであると考えます。

また、「信頼性を脅かす」や「党の名譽を大きく傷つける」という誇張し誇大な表現は、該当するのをお考えいただきたい。この点も繰り返しになりますが、今後一切配布を行わないこと、今回が初めての配布であったこと、阪南市ではなく泉南市であったこと、その配布は5月29日現在、たった3部の回収を残すのみで、全印刷部数60部に対する回収と破棄合計割合は95%、回収時点で約41.7%は処分され、関心があって読んだ人の割合は2.8%です。

この事実から、「信頼性を脅かす」や「等の名譽を大きく傷つける」という表現がいかに誇大で過大な表現であるかが分かります。このような単純な印象操作で処分を決することなく、慎重にご検討頂きたいのです。

これまでの永きにわたる土井議員による阪南市政に対する一連の行為を合わせ鑑み、土井議員への厳罰を求め、ここに上申いたします。

阪南市政のあり方に疑問を持ち、100条委員会を提案・設置して制度改正を行ったのが30歳のときでした。現在56歳です。それこそ、永きにわたる私の貢

献も考えて頂きたいのです。上申書では「阪南市政に対する一連の行為」と批判的に記載していますが、この上申書に記されている方々の「阪南市政に対する一連の行為」もこの報告書に記しているのであり、公平・中立なご判断を頂きたいと存じます。

以上